

令和元年度印西市地域公共交通会議第1回師戸地区対策分科会 会議録

開催日時 令和元年5月16日(木)午後2時00分から
開催場所 印旛支所3階研修室
出席者 佐藤信之委員、豊田裕子委員、豊田実委員、石井隆委員
欠席者 川嶋一郎委員
事務局 交通政策課 鈴木課長、渡邊副主幹、鈴木係長、成田主査、阿部主査
傍聴者 2名

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事
 - (1) 宗像路線の新ダイヤ(案)について
 - (2) 印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート内容の検討について
 - (3) 意見交換
- 4 閉会

会議録(要約)

1 開会

(事務局) ただいまから、令和元年度印西市地域公共交通会議第1回師戸地区対策分科会を始めさせていただきます。

2 挨拶

【 交通政策課長挨拶 】

(事務局) また、本日の会議につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第6項の規定に基づき、公開とさせていただきます。本日の会議においては、傍聴の申し出がありますので、傍聴者を入室させていただきますと思います。

【 傍聴者入室 】

(事務局) また、本日の会議でございますが、会議録作成のため、録音させていただきますので予めご了解ください。

3 議事

(事務局) それでは、次第の3、議事に入ります。

(1)宗像路線の新ダイヤ(案)について

(事務局) 議事(1)について、ご説明いたします。

【資料1 事務局説明】

(事務局) ただいまご説明いたしました議事(1)に関しまして、ご質問ご意見等を頂きます前に、運行会社から補足説明をお願いします。

(委員) 今まで一生懸命に運行してきましたが、どうしても遅れが生じる、運転手の休憩が取れない、トイレに行く時間が無い。吉田地区への乗入れ本数を増やしてほしいという要望もある。吉田からは時間帯によって、牧の原駅方面に行っても、臼井駅経由で戻ってくるしかない。他にも皆さんからご意見があれば、それを参考に、事務局とも相談しながら改定していこうと思います。

(事務局) 委員の皆さまから、ご意見ご質問等をお願いいたします。

(委員) 要は、印旛沼のところが混んでしまうから、休憩を増やしましょう。如何ですか、ということですね。乗降人数とかの問題ではないですね。

(事務局) 乗降人数は、事務局で考えている目標よりは多少低いので、なるべく乗って頂くようにしていきますが、今の話は臼井駅まで、6分で行くべきところ25分とか30分かかってしまう。時間を変えてしまうのもやむを得ないのではないかとということです。

(委員) 佐倉市の管轄かもしれませんが、信号をどうにかしようといっても10年、15年先になりますよね。道路が無いので、あとは信号の時差ぐらいか。行けなかったらしょうがないので。

(事務局) そのうち、空いてきて、時間もかからなくなってくれば、元に戻すことも出来るかと思いますが、運転手にトイレ休憩も与えなくてはならないのです。

(委員) トイレ問題については午前便がきついのですが、午後については、いくらか時間を増やせば、どうにかなるのではと思います。実態に合わせたダイヤを組もうかということです。朝の臼井駅に向かう一般車は増えてきているようで、中宿の信号と八幡台入口の信号が混むのです。しかし一番混むのは土・日・祭日、ジョイフルとかに買い物に来たり、サバゲーとかいろんなレジャーにより、とても渋滞する。時刻表を全ての曜日、同じでやるのなら、一番混む日曜の実態に合わせて作成したほうが良い。

(委員) 師戸まで佐倉市のバスに来てもらうというのは、どうでしょう。坂道の渋滞を師戸までにして、そこから曲がってしまえば。

(事務局) 我孫子と行っているのは、我孫子と一緒に路線を作って、負担をして頂いているものです。路線を寄せるとか、くっつけるというわけではないんです。

(委員) 京成佐倉駅に行っている六合路線は、都市交通が行っていた頃ですが、佐倉市から要望を受けて、佐倉市内にバスを停めるようになりました。補助の問題も出てきますが。

(事務局) 佐倉市としてのメリットが何もないと、行ってくれないですよ。我孫子と行っているのは、我孫子の人が千葉ニュータウンのイオンに買い物に行くのに利用出来るというメリットがありますが、佐倉市民にとってはメリットが無いのではないかと。

(委員) 佐倉市民の人も臼井駅から乗ってきて、北総鉄道に乗ったり日医大病院に行く人もいるので、メリットが無いことはないと思います。

(委員) 競合路線という問題も出てきます。うちも印西市から臼井駅のあいだは、一切、停めませんから。

(事務局) そういうお話になれば考えることは出来ると思いますが、競合路線の問題は、完全にクリアしなくてははいけません。公共交通としては民間を圧迫するようなことは出来ない。そういう中で、臼井駅に行く時間がかかってしまう件については、何らかの手を打っていかなくてはならない。いま、ギリギリのところをやっていますから、便数は変わってくるということです。

(委員) もう少し、運転手からの意見を取りながら・・・

(事務局) 基本的には、市民の皆さまからすれば、なるべく便数は減らないほうがいい、というのが地元からの意見となっていくと思います。かといって、トイレまで我慢して事故でも起こすようになってしまっただけでは困ります。

(委員) これは、青ルートは19時10分と、20時02分は、無くなるということですか。

(委員) そこまでは、決まっていません。例えば、その間の、利用の少ない便で、1便抜いて調整をする。そうすると、時間は随分ずれてきます。あとは、吉田地区の意見も取り入れられれば。吉田地区では今まで週に一度、買い物バスというのをジョイフルまで出していました。これを、吉田まで何便か入れることによってやめた訳ですが、これで行くと、何時に乗って何時に帰ってくれば良いのか。うまく帰ってこれない時間帯があります。青便で臼井に行って、吉田に入る赤便で帰ってこないといけない、そんな便があります。

(事務局) 吉田便を増やすと時間がずれて、ほかの便が減便になったりしませんか。宮前も今回の実証運行の開始に合わせて増やしてはいるのですが。

- (委員) あまり乗っていない便を1便か2便減らすか・・・
- (委員) 吉田の方の行動範囲は印西ですか、勝田台ですか。そういうアンケートを取ったことは無いですか。私の知っている人は勝田台や八千代方面に行く人も多いです。しかし、印西や臼井も行くんだったら、同じ権利があると思うので、向こうも回さない、ということになると思いますが、そもそもの行動パターンは・・・
- (委員) 昔の東洋バスの大和田から岩戸までの路線は、一番収益の上がる路線だったそうです。岩戸にも車庫がありました。利用客が減って東洋バスは撤退してしまいましたが、吉田の人は、勝田台に出る人は多いですね。
- (委員) 勝田台に行くかキューカリに行くかですよ。最近、道路を歩いている人も見かけます。バスが無いからだと思いますが、道路の端を歩いています。危ないですね。
- (委員) 日本医大病院と牧の原駅の間、赤と青と2台で回すから、赤で行って青で帰ってくるのと10分節約できる。2台で回すから、もしかすると吉田に入る入口で乗り換えられる。車両運用で、赤で牧の原駅に行き、牧の原駅から青で臼井駅に行く。そうするとそこで10分稼げる。15分稼げますよね。1台で行っているから吉田の入口で合流することは無いのだけど、2台だったら乗換便が出来れば・・・
- (事務局) 大廻新道で乗り換えるということですね。
- (委員) つい1週間前に経験したことなのですが、セブンイレブンのところで5時53分、6時ぐらいのバスがあって、バスが2台連なって来たのです。あれは、どういうことでしょうか。
- (事務局) 大廻新道では、同じ時間に2台が来るのです。臼井から来て鎌苅に行って日医大駅に行く便と、牧の原から来る便、同じ時間に来て行き会うのですよね。
- (委員) その乗継ぎを、最初は考えたのです。でも、そこでうまく乗り継げるようにすると、臼井駅を同じ時間に出発するようになってしまう。そうすると、臼井駅から利用する利用者には、どうなのだろうということを考えました。
- (事務局) ちょうど8の字のルートになるので、臼井駅を出る時間は同じになってしまうのですが、赤と青、師戸回りと岩戸回りが、ここで行き会って乗り換えられれば、全方向に行けるようになるメリットはあるのです。起点を出る時間が同じになってしまうのは、どうなのかということを考えました。
- (委員) 赤と青と、それぞれ1台ずつ張りつかけると、どうしても無理が出てしまう。日本医大病院と牧の原駅の間は、あまり時間差なく走るようになる。2台が走らなくても良いのではないのでしょうか。

(事務局) 乗り継げるようにすれば、2台が続いて走らなくても良くなる。牧の原駅と日本医大病院の間を効率よくして、その時間を休憩時間に持つていくとか出来るかもしれません。

(委員) 牧の原や東の原の人は、病院への利用が多いようです。病院への利用者も増えてくるのかなと思います。

(委員) 東の原は、すごく住宅が造成されていて、今後利用者は絶対増えると思います。

(委員) バス停を設置しているときに販売事務所の人が出てきて、随分喜んでいました。

(委員) バスの車体は古いですね。立席は出来るのですか。

(委員) 古いですね。新車は、頼んでから2年かかると言われ、探すのが大変でした。立席でも乗車できます。ポンチョと大差ないのです。リエッセですので、ポンチョのベースとなっている車ですから。師戸地区とか鎌苅は道も狭いのです。

(委員) 吉田は、お宮のところで方向転換ですか。

(委員) なるべくバックしないような形でのUターンです。

(事務局) 一応、このへんを考えながら、もう一度事務局と運行会社も入れて、いい交通になるように検討していきたいと思います。野田市などでは、ルートなど頻繁に変えながら、成功しています。

(委員) バスの時刻が変わるなら、いつからですか。お知らせは早めをお願いします。バス停に行ってから知るようなことは無いように。

(事務局) 最速で対応すると、10月1日です。お知らせは全戸配布します。バス停にも早めにお知らせを掲示します。

(事務局) 改正案が出来たら、どのように変わるのかがわかるようにして、分科会委員の皆さんにお送りします。それを最終的に全体の交通会議にかけて了承を頂きます。頂いたご意見で、まずはダイヤを作ってみます。路線の利用人数としては伸びていますが、もっと伸びるように頑張ってみます。印旛明誠高校も、教頭先生にお話しに伺ったら、たいへん喜んでいただきました。

(委員) 通学定期も何人か出てきました。いには野から臼井駅に出る学生だったと思います。

(委員) 2～3年前は、そういうのが多かったです。臼井駅から京成線を利用する子のほうが。北総沿線には高校が、ちょっと行かないと無いので。

- (委員) 牧の原も、1人いたと思いますが、どこまで行っているかは、わからないのです。
- (事務局) 印旛明誠高校からは、もう少し本数が欲しいという話でした。学生からすると、ちょっと本数が少ないと。
- (委員) まったく別のことですが、車イスの乗客の対応についてです。印旛支所の市民課から、車椅子への対応について、どうしていますか、という電話がありました。今、新車を導入する場合にはノンステップか、リフトを設置しないと登録できない。中古の場合、それは関係ないのですが、うちの会社の車にはリフトがついている。しかし、それがついているからと言って、どこでも乗降出来る状態ではない。車の側面から乗車するようなリフトだと、バスの側面から2.5メートル無いと乗降出来ません。ジャパンタクシーの場合も同じです。道路の形状によっては、道路をふさぐような形になります。乗車の問い合わせがあった時、どう対処したら良いのか。
- (事務局) 病院とか駅とかの場合は、大丈夫ですか。
- (委員) おそらく大丈夫とは思いますが、時間がかかるので、ほかの交通の妨げになることも考えられます。どこかのバス会社が断って、乗車拒否として、ニュースになっていました。
- (事務局) 事務局としては、出来る限り、期待に応えて頂きたい。これからになると思いますが、場所を見て頂いて、どことどこで乗降出来るのかについて・・・
- (委員) 乗降には時間がかかるので、他のお客さんからのブーイングが出ないかが、現場としては、重要な問題です。
- (委員) 乗降するのは、後部からですか。
- (委員) 中古で入れたのは横からです。
- (事務局) 高齢化が進展していますから、これから、そういう需要も増えてくると思います。そういう方を、無下にお断りすることは、なかなか出来ないところです。
- (委員) 先ほど、バスが戻って来ていたので、リフトを出してみたのだけれど、けっこう大変だな、という感じでした。
- (事務局) 車イスの利用者は、他の乗客のブーイングがあったとしても、バスに乗せてあげてほしい。乗降に時間がかかってバスが遅れ、電車に乗れなかったということもあるかもしれませんが。

(委 員) 道路が、対応していないですからね。

(事務局) 大きな市では、交通担当の課は、土木とか建築のほうの部に入っているのです。ですから道路の状況も、よく知っています。バスに乗りやすいように直しながら行っている。そもそも道路の幅が狭いです。

(委 員) 車椅子でなくても、もう少し先で停めてくれとか、バス停でないところで降りたいという人もいますが、それは出来ませんので。何か事故等あったときに困りますから。

(委 員) 介護タクシーで病室まで入れると1万5千円、普通は1万円より下ですが、バスが利用出来ると大変便利です。車椅子対応のタクシーは、普通のタクシーと同じ料金なのですか。

(委 員) 普通のタクシーと同じです。うちの場合はハイヤー仕様で、貸切利用でハイヤーでやっていましたが、その前は、タクシー料金でやっていました。当時は増車が出来なくて、そういう車両なら増車が出来たのです。でも、駅付けしているといういろいろトラブルがあって止めてしまいました。

(委 員) タクシーで対応出来るといいですね。市内のどこかのタクシー事業者が車椅子対応のタクシーを持っていて、そこを紹介するというしか現状では、ないですよ。

(事務局) 県道でも狭いところがあって、2.5メートル空けて車を停めたら、センターラインを越えてしまうと思います。そのへんの話ですが、市では、どこに問い合わせがあっても、同じように答えられなくてはならない。それから、車椅子への対応自体、どうしていくのかも含めて、あとで、ご相談をしたい。バスのダイヤについては、参考になるご意見を頂きましたので、それらを参考にしながら運行事業者と協議をして、委員の皆さんにも早めに提示出来るようにしたい。宜しく願います。

(委 員) 吉田地区の件は市でも意見を聞いてみてください。買物に行ったけど、どうやって帰ろうかな、ということらしいです。もう1便でも増えればと・・・

(事務局) 吉田への増便をするため、元々の宗像のほうを減らしたわけですが、また、吉田へ、さらに増便するため、よそを減らすというのは難しいかなと思いますけれど、どんな具合か調べてみたいと思います。ただ、1便減らし最終便も減るというのは厳しいかなと思います。

(委 員) 先ほどの意見にあったように、牧の原駅と日本医大病院の間で調整を取るかどうかとも。

(事務局) 研究しなくてはいけないところですので、そのへんも参考にしながら、運行事

業者を交えて、調整をさせて頂きたいと思います。案が出来ましたら、委員の皆さまにお送りし、ご覧頂きたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

(2) 印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート内容の検討について

(事務局) 議事(2)について、ご説明いたします。

【資料2 事務局説明】

(事務局) ただいまご説明いたしました議事(2)に関しまして、ご質問ご意見等ございますか。

(委員) (とくに無し)

(事務局) それではこちらにつきましても先ほどと同様に、ご意見ご提案があれば、メールでも電話でも、用紙に書いて郵送でも結構です。今月末までにご提出をお願いいたします。

(3) 意見交換

(事務局) 意見交換でございますが、ご意見等ございますか。

(委員) (とくに無し)

※印西市地域公共交通会議委員への報償の支払いについて事務局から説明
※委員任期の満了について事務局から説明

4 閉会

(事務局) それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回印西市地域公共交通会議師戸地区対策分科会を終了いたします。

長時間にわたりまして、ありがとうございました。

(終了 午後3時27分)